なががみ

第 155 号
編集と発行
中部農業改良普及センター
〒904-2155 沖縄県沖縄市美原1丁目6番34号
（沖縄県中部合同庁舎2階）
電　話 098-894-6521
ＦＡＸ 098-937-2502

沖縄県農林漁業賞（畜産部門＆農山漁村地域活性部門）受賞！

沖縄県農林漁業賞の畜産部門にて中部地区和牛改良組合、農山漁村地域活性化部門にてうるま市農漁村生活研究会が表彰されました。

中部和牛改良組合は肉用牛農家による大規模な組合を組織しており、優良子牛の生産拡大と改良促進を推進していることや、全国和牛能力共進会で優秀な成績を収め、県全体の肉用牛改良に大きく貢献していることが評価され、受賞に至りました。

また、うるま市農山漁村生活研究会は、うるま市在住の女性農業者等を中心に構成された組織で、うるま市農水産業振興戦略拠点施設「うるマルシェ」を拠点に、地元農水産物であるニンジン、オクラ、かんしょ、もずくなどを活用した加工品づくりを精力的に行い、付加価値向上と販売促進に大きく貢献していることが評価され、受賞に至りました。

この度の受賞、誠におめでとうございます。今後のご活躍にも期待しております！

おきなわ花と食のフェスティバル 2026 園芸部門表彰結果

	賞名	氏名	市町村	品目名
花き	農林水産大臣賞	知花　貫徹	読谷村	小ぎく
	沖縄県議会議長賞	天久　学	宜野湾市	フィカス
	沖縄県農業協同組合中央会 代表理事会長賞	知花　勲	読谷村	小ぎく
	日本花き卸売市場協会長賞	山川　宗成	沖縄市	ディスパットマム
	沖縄県農業共済組合組合長理事賞	石嶺　剛	読谷村	フィカス
野菜	沖縄県議会議長賞	山城　隆紀	うるま市	食用菊
果樹	内閣府沖縄総合事務局長賞	比嘉　晴菜	北中城村	パッションフルーツ
令和７年度　産地活動表彰　おきなわブランド化貢献部門（花き）			ＪＡおきなわ中城支店　花き生産部会	

受賞された皆様

誠におめでとうございます！

🥕おきなわ島ふ～どグランプリ　最優秀賞受賞！！🍇

沖縄県主催の 2026 おきなわ島ふ～どグランプリにおいて、ウィングアーク 1st 株式会社（沖縄市）の「島の恵みのキャロットケーキ」が最優秀賞を受賞しました。

本イベントは、県流通・加工推進課の県産農林水産物活用連携支援事業にて、自社の農産物を活用した加工品づくりに取り組み、一般来場者等の投票を基にトップを決定するグランプリです。

ウィングアーク 1st（株）は、農福連携を進めており、バニラ、ニンジンやワイン用ぶどうなどの多品目生産に取り組んでいます。自社で生産したニンジンと紅芋、在来種のリュウキュウガネブ、県産ニンジンを活用し、動物性の原材料を使わないヴィーガンキャロットケーキの製造に取り組み、見事最優秀賞を受賞しました。

受賞した商品は、楽園百貨店やうるマルシェにて販売されていますので、ぜひご賞味ください♪

普及センターでは引き続き農産物活用に取り組む農業者の支援を行っていきます。

沖縄県青年農業者会議　意見発表･プロジェクト活動 最優秀賞受賞

令和７年度沖縄県青年農業者会議が 10 月 31 日に開催され、中部地区農業青年クラブ代表として意見発表の部「リュウキュウガネブと歩む、農福連携で生み出す価値」與那嶺直樹 氏が最優秀賞、プロジェクト発表の部「ピーマンの最適な栽培管理を目指して」喜友名朝士 氏が最優秀賞を受賞しました。與那嶺氏と喜友名氏は県代表として九州大会派遣されます。

中部地区から２名も代表に選ばれた結果に、青年クラブのメンバーや普及センター職員が歓喜にあふれました。

意見発表では、リュウキュウガネブを栽培しワインづくりに取り組む挑戦や今後の展望、プロジェクト発表では、ピーマン栽培を通し、環境データに基づく栽培管理や排水改善の取組について発表を行いました。

二人は結果に満足しつつも、令和８年７月に鹿児島県で開催される九州大会に向けて、さらに良い発表ができるよう準備を行う予定であり、普及センターでは引き続き発表支援を行っていきます。

パッションフルーツの産地リーダー育成と単収向上

～ 北中城村におけるパッションフルーツ の生産振興～

北中城村地活キャラ「城まーい」ちゃん

北中城村においてパッションフルーツは、需要が高い作物として生産が期待されている品目です。しかし、排水性の悪いほ場で立ち枯れ症が発生しやすく、単収が 500 kg未満と低いことや担い手の確保が課題となっていました。そこで関係機関連携により、北中城村のパッションフルーツを対象に「地域農業振興総合指導事業」を実施して、令和２～４年に１期目として「産地活動体制づくり」、令和５～７年は２期目として「産地リーダー育成と単収向上」に取組んできました。

○パッションフルーツの生産振興

令和７年度は栽培希望者を対象にした「基礎から学ぶパッションフルーツ栽培」勉強会を開催しました。勉強会では普及センター果樹担当からパッションフルーツを栽培に適した園地条件や一年間の管理作業、一年更新による電照栽培モデル等について説明し、JA からは果樹部会や共選について、北中城村役場からは、村一括交付金事業によるパイプハウス整備事業が活用できる事など紹介がありました。

また希望者には後日、農家圃場見学会として、北中城村内の圃場３カ所を巡回して紹介しました。農家によって畝立や仕立て等、圃場の様子も変わり、枝整理の仕方など栽培者が参加者に直接教える様子が見られました。

パッションフルーツで収益を確保するにはパイプハウス等の施設が必須で生産振興のネックとなりますが、北中城村では今年度新たにパイプハウスを整備して栽培を開始する農家もおり、徐々にではありますが生産者も増加しています。

○産地リーダー育成

令和７年度の現地技術組立実証展示ほでは、ハウス内の環境把握と青落ち状況について調査し検討を行いました。リーダー研修は、恩納村にてパッションフルーツ産地視察を実施し、優良農家の圃場見学と村が整備した担い手研修施設を見学しました。これまで現地組立実証ほ設置や個別巡回、リーダー研修会等資質向上を図り、北中城村のパッションフルーツの牽引役となる産地リーダー3 名を育成することができました。

また先日開催された、おきなわ花と食のフェスティバル 2026 の果樹品評会にて、北中城村の比嘉晴菜氏のパッションフルーツが最優秀賞を受賞しました。中部地区で初のパッションフルーツ受賞に産地が盛り上がっています。

北中城村における地域農業振興総合指導事業は今年度で終了しますが、事業終了後も継続してパッションフルーツの生産振興を図るための産地協議会設立について準備中です。今後の産地の発展を期待しています。

果実の青落ち状況を調査（展示ほ）

花と食のフェスティバル 2026 果樹品評会にて最優秀賞を受賞した比嘉晴菜氏

オクラ植え付け時に注意！立ち枯れ対策！！

１．主な立ち枯れ病原菌の種類と特徴

オクラのは種・定植直後に発生する立ち枯れは、主に土壌中の病原菌が関与して起こります。病原菌の性質を理解し、発生しやすい条件を避けることが、被害軽減のポイントです。

同じように見える立枯れ症状でも、原因となる病原菌は一つではありません。主なものとして、リゾクトニア菌、ピシウム菌、フィトフトラ菌、フザリウム菌があり、それぞれ発生しやすい条件や症状に違いがあります。これらの病原菌は、**低温**や**多湿条件**、**連作圃場**で発生しやすいため、いずれかの条件に当てはまる場合は注意が必要です。

２．主な原因に対する注意ポイント

主な原因ごとに、は種・定植時に注意したいポイントを整理しました。

主な原因	注意ポイント
① 土壌病害による感染	連作圃場では病原菌が残りやすいため、太陽熱土壌消毒の実施や作付け間隔の確保を検討する
② 早まき栽培での低温・風	は種・定植直後の低温や強風は苗に強いストレスを与えるため、トンネルや被覆資材、防風垣の設置で保温・防風対策を行う
③ 牛ふん堆肥等による覆土	堆肥での覆土は立ち枯れの原因になるため、覆土は培養土を使用し、堆肥は使用しないでください
④ は種・定植直後の大雨	排水不良圃場では立ち枯れが発生しやすいため、高畝や排水整備（明渠など）を行う
⑤ 土壌水分過多	活着を意識した過剰な灌水は避け、土壌水分を確認しながらかん水してください
⑥ は種・定植深度の不適	深植え・浅植えはいずれも発芽不良の原因となるため、深さ約 1cm を目安に行う

３．実際に聞いてみた！農家の立ち枯れ対策　～事例紹介～

農家Ａ：　トンネル栽培による低温・風対策。低温期の定植では、トンネル被覆を行い、定植直後の冷え込みや強風を軽減した。その結果、苗の活着が安定し、立ち枯れの発生が抑えられた。

トンネル栽培

ペーパーポット苗定植

農家Ｂ：　ペーパーポット苗を使用し、定植を行った。ペーパーポット苗は、セルトレイ苗で問題となりやすい定植時の根切れや根鉢の崩れを軽減できるほか、直播に比べて立ち枯れも少なく、生育の揃いが良い。